



2024年10月10日

各位

会社名 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 井阪 隆一
(コード番号3382 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 常務執行役員 丸山 好道
(TEL. 03-6238-3000)

中間連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2024年7月11日に公表いたしました2025年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想と本日公表の実績との差異が生じたこと、及び当該実績値を踏まえて2025年2月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異(2024年3月1日~2024年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,606,000	百万円 222,000	百万円 201,000	百万円 111,000	円 銭 42.68
今回実績(B)	6,035,534	186,996	167,220	52,242	20.09
増減額(B-A)	429,534	△35,003	△33,779	△58,757	△22.59
増減率(%)	7.7	△15.8	△16.8	△52.9	△52.9

2. 通期連結業績予想の修正(2024年3月1日~2025年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,246,000	百万円 545,000	百万円 502,000	百万円 293,000	円 銭 112.80
今回修正予想(B)	11,879,000	403,000	356,000	163,000	62.74
増減額(B-A)	633,000	△142,000	△146,000	△130,000	△50.06
増減率(%)	5.6	△26.1	△29.1	△44.4	△44.4

3. 差異及び修正の理由

2025年2月期中間連結会計期間におきまして、北米経済全体は底堅さを維持したものの、長引くインフレと高金利環境のなかで消費の二極化が進み、中低所得者層においては消費に対する慎重な姿勢がより一層強まりました。このような環境の中、当社子会社である海外コンビニエンスストア事業の7-Eleven, Inc.において、客数が想定を下回り商品の売上及び荒利が減少いたしました。また、当社子会社の株式会社イトーヨーカドーネットスーパーの事業撤退により、関係会社事業関連損失として45,877百万円の特別損失を2025年2月期第2四半期(中間期)に計上いたしました。これらを主因に、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は予想を下回りました。

また、当該実績値及び足元の動向を鑑み、通期連結業績予想につきましても修正いたしました。

なお、詳細は同日開示の「2025年2月期第2四半期（中間期）決算説明資料」及び「2025年2月期第2四半期（中間期）決算補足資料」をご参照ください。

※本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる場合があります。

以上